

広島大学インキュベーション研究拠点

「本能行動の発現メカニズムに関する総合科学研究推進拠点 - 大学生の生活習慣及び科学リテラシーの確立へ向けて -」 第19回 研究セミナー

本研究拠点の目的は、本能行動をはじめとする様々な生命現象を生命科学・健康スポーツ科学・行動科学等の学際・異分野融合的な立場から解明することです。

この度、学外から講師の先生をお呼びし、講演を行っていただきます。

教員、院生、学部生を問わず多数のご参加をお待ちしております！
場所：広島大学 理学部 理学棟 101号室
日時：2024年11月14日（木） 14:00-16:00

総合科学研究科 大会議室

【演者・講演内容】海老原 史樹文（関西学院大学理工学部）

総望行動を制御する遺伝子

尾懸垂試験や強制水泳試験における無動化はうつ様行動の指標として用いられる。我々は、これらの試験において無動化しないマウス（CS）を見出し、その原因遺伝子（*Usp46*）を同定することに成功した。この遺伝子は脱ユビキチン化酵素をコードしており、概日リズム、養育行動、学習など様々な行動を制御し、GABA_A受容体サブユニットの発現に影響する。本セミナーでは、これらの成果についてお話しする。

【問合せ】浮穴和義（総合科学研究科 行動科学講座
内線6571）

*本研究セミナーは、総合科学推進プロジェクトの
支援を受けています。

また、理系大学院（総合科学・理学・先端物質科学・
工学・生物圏科学研究科）の認定科目として開催しま
す。